

経済産業省

デジタルプラットフォームの透明性・公正性に関する  
モニタリング会合

2023年度 第9回 議事要旨

■ 開催概要

<日時> 令和5年9月22日(金) 10:00~12:08

<場所> オンライン開催 (Webex)

■ 出席者

<委員> (座長以下50音順)

岡田座長、生貝委員、善如委員、武田委員、百歩委員

<オブザーバー>

公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 金藤 ICT 委員会委員長  
公益社団法人日本アドバイザーズ協会・一般社団法人デジタル広告品質認証機構 小出専門研究員・事務局長  
一般社団法人日本新聞協会 デジタル広告部会 酒井部会長  
一般社団法人日本インタラクティブ広告協会 柳田事務局長

<関係省庁>

内閣官房デジタル市場競争本部事務局 松本主査  
公正取引委員会 経済取引局 総務課 デジタル市場企画調査室 稲葉室長  
総務省 情報流通行政局 参事官室 後藤参事官付企画官  
総務省 総合通信基盤局 利用環境課 中村課長  
個人情報保護委員会事務局 松浦参事官補佐

<デジタルプラットフォーム提供者>

Google LLC

政府渉外・公共政策部門 Brown 広告担当部長

ナレッジ&インフォメーション Smith アジア太平洋担当部長

<事務局>

経済産業省 商務情報政策局 仙田デジタル取引環境整備室長

(令和5年度事務局運営支援業務委託先) (株)野村総合研究所、(株)イベント・レンジャーズ

## ■ 議事次第

---

1. 開会
2. 議題

デジタルプラットフォーム提供者からのヒアリング⑦ Google LLC (デジタル広告)

3. 閉会

## ■ 配布資料

---

### 議事次第

資料1 ヒアリングの公開・非公開について

資料2 Google LLC 提出資料 (発表資料)

参考資料1 特定デジタルプラットフォーム提供者による報告書 (抜粋)

Google LLC (第2回会合提出資料)

## ■ 討議概要

---

- 事務局から、資料1に基づきヒアリングの公開の方針について説明。
- Google LLC から、資料2に基づきプレゼンがなされた。
- その後、質疑応答がなされた。委員等からの主な質問・意見は以下のとおり。
- ✓ パブリッシャー側のアドサーバと DSP の統合は、利益相反等の問題を引き起こしやすいと考える。こうした利益相反を防ぐ上で、今回策定された利益相反・自社優遇に関するポリシーは十分機能するのか。パブリッシャー側のアドサーバの機能分離 (ファンクショナル・セパレーション) を提案する他国の政策文書もあるが、どう考えているのか。
- ✓ Google Ad Manager の利用において、一定数のインプレッション広告が無料であり、回数カウントでも Ad Exchange 等のインプレッションを含まない取扱いであると聞く。自社のアドテク利用でゼロカウントやゼロレーティングとすることは、アドテク間の競争を歪めると考えられるがどうか。
- ✓ YouTube 広告の配信において、Google の DSP 経由と他社の DSP 経由との間でアクセスの公平性は確保されているのか。特に、ユーザデータの利用について Google が事実上有利ではないか。
- ✓ 手数料の透明性に関し、開発中の Confirming Gross Revenue の機能について、日本での展開を期待する。
- ✓ ポリシーやルールの内容ではなく、取り組んでいる具体的な内部統制を説明してもらいたい。Google がプラットフォーム事業を通じ収集するデータが最小であることを示す具体的な内部統制はどのようなものか。
- ✓ 自社優遇を行っていないことを示す具体的な内部統制はどのようなものか。自動化された仕組みが容易に変更できないと言うのであれば、どのような統制が働いているからかを説明いただきたい。



以上

※ 本議事要旨は、会合の様等を事務局の文責において要約したものであり、事後修正の可能性があります。

**【お問い合わせ先】**

商務情報政策局 情報経済課 デジタル取引環境整備室

電話：03-3501-0397